

事務事業評価シート2 (一般事業)

1 基本情報

事業番号		0010/100510/04/03		事業の種類	4
年度	20	事務事業名	まちかど出前講座実施事業	作成日	重要度
予算事業名	広報広聴事業		担当課名	企画広報課	
政策名	計画推進のために		実施計画への記載	無	主要事業の指定
施策名	市民参加のまちづくり		無	無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民(行政情報を発信することによる市民と協働のまちづくりの実現)			
	誰(何)を対象として	全市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市政情報や行政の施策を直接説明し、市政に対する関心を高めていただき、市民参加の協働のまちづくりを進める。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市内に在住している中学生以上の10人以上のグループ等の求めに応じ、普段、市政について疑問に思っていることについて、市職員がわかりやすく説明を行うもの。				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	まちかど出前講座	人	368	111	303	270
	まちかど出前講座回数	回	11	4	9	9

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	0.060	0.060	100.0	0.060	100.0	0.060	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	1,229,514	1,261,645	102.6	1,210,638	96.0	1,223,424	101.1	
	事業費	0	0	-	0	-	0	-	
	合計	1,229,514	1,261,645	102.6	1,210,638	96.0	1,223,424	101.1	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	1,229,514	1,261,645	102.6	1,210,638	96.0	1,223,424	101.1	
	合計	1,229,514	1,261,645	102.6	1,210,638	96.0	1,223,424	101.1	

4 評価指標

[有効性]

指標名1		平均受講者数							
指標説明(式)		延べ受講者数 ÷ 延べ講座開催回数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
部	目標	30	30	100.0	25	83.3	30	120.0	
	実績	33	28	84.8	33	117.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

[効率性]

指標名1		講座1回あたりに要した事業費							
指標説明(式)		事業費 ÷ 延べ講座開催回数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	96,141	271,906	282.8	115,702	42.6	117,056	101.2	
指標名2		参加者一人あたりに要した事業費							
指標説明(式)		事業費 ÷ 延べ受講人数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	2,873	9,798	341.0	3,437	35.1	3,902	113.5	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	中学生以上の全市民等が対象としており、希望される方すべてに対応できている。	3	3
	市民ニーズ	市民の自発的な要望による講座である。		
有効性	市民サービス	担当市職員が、直接説明を行うことにより、理解が深まる。	4	4
効率性	手段の最適性	講座内容等をより市民ニーズに合ったものとする必要がある。	3	3

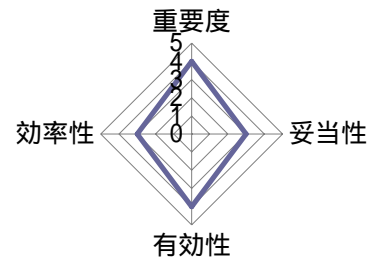
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	手段の最適性	市民ニーズに合った講座内容を検討する。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	手段の最適性	市民ニーズに合った講座内容を検討する。
H20	H21予算反映額	0



(2) ヒアリング時指摘事項

--

検討の有無	-
総合指標	19.5